

2016年3月期第1四半期 決算説明会

カシオ計算機株式会社

2015年7月29日

CASIO[®]

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2016年3月期 第1四半期連結決算概況

CASIO.

①

単位：億円

連結	2015/3月期 第1四半期	2016/3月期 第1四半期	前年比 増減額
売上高	722	795	+72
営業利益	70	91	+20
利益率	9.7%	11.4%	-
経常利益	66	95	+29
当期純利益	46	66	+20

第1四半期好業績の主要因

CASIO

②

コンシューマ

<2015年3月期 第1四半期>

<2016年3月期 第1四半期>

売上	614億円	683億円
営業利益	98億円	115億円
利益率	16.0%	16.8%

◆時計のグローバル空港プロモーション効果等による高機能アナログウォッチの売上拡大

- ・G-SHOCK、OCEANUSのGPSハイブリッド電波ソーラーウォッチの販売好調
- ・スマートフォン連携Bluetoothウォッチ(EDIFICE)の販売好調

◆デジタルカメラの独自ハイエンド商品拡大により安定した利益確保

- ・TRシリーズ(自分撮り)の販売好調持続
- ・EX-ZR1600(撮影した画像を自動でスマートフォンに転送)の販売好調

◆電卓のローカライズ商品の拡大による売上、利益拡大

- ・インド:桁表示・検算電卓
- ・高精細な母国語表示関数電卓(日本語、中国語、アラビア語)

システム

◆プロジェクター:新製品XJ-V1投入による売上増(前年比140%)で収益性改善

2016年3月期決算予測

CASIO

③

単位：億円

連結	2016/3月期			
	上期計画	下期計画	通期計画	前年比増減額
売上高	1,700	2,000	3,700	+316
営業利益	200	300	500	+132
利益率	11.8%	15.0%	13.5%	-
経常利益	190	290	480	+101
当期純利益	130	200	330	+66

セグメント別売上・営業利益

CASIO

④

単位:億円

連結		2016年3月期			
		1Q実績	上期計画	通期計画	前年比増減額
売上高	コンシューマ	683	1,420	3,105	+234
	システム	91	230	490	+82
	その他	20	50	105	+1
	合計	795	1,700	3,700	+316
営業利益	コンシューマ	115	226	535	+64
	システム	▲14	0	10	+67
	その他	0	0	0	+2
	調整額	▲10	▲26	▲45	0
	合計	91	200	500	+132

◆システム事業の健全化

1. プロジェクター新製品XJ-V1の増強
2. 経営政策イノベーションシステムの下期事業貢献
3. カシオ独自の2.5Dプリンターの来期投入

1. 時計

高機能アナログウォッチのグローバル展開拡大

GPSハイブリッド電波ソーラーウォッチ

G-SHOCK

OCEANUS

スマートフォン連携Bluetoothウォッチ

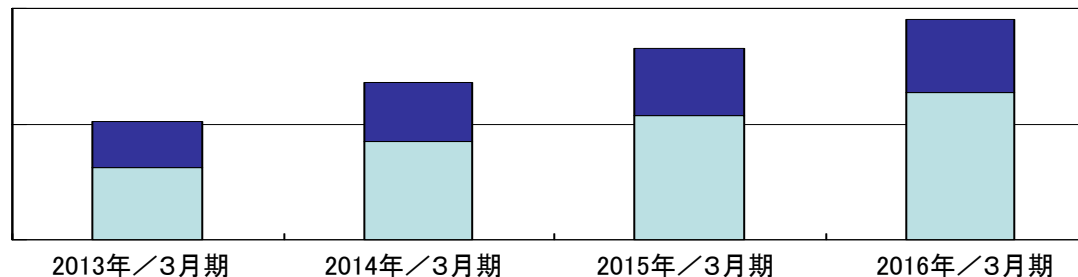
EDIFICE



◆カシオのGPSハイブリッド電波で他社GPS競合メーカーに対抗

・カシオはG-SHOCK、OCEANUS +スマートフォン連携Bluetoothウォッチ(EDIFICE)

<全世界売上> G-SHOCK OCEANUS+EDIFICE



1. 時 計

中国、ASEAN、中近東の販売拡大

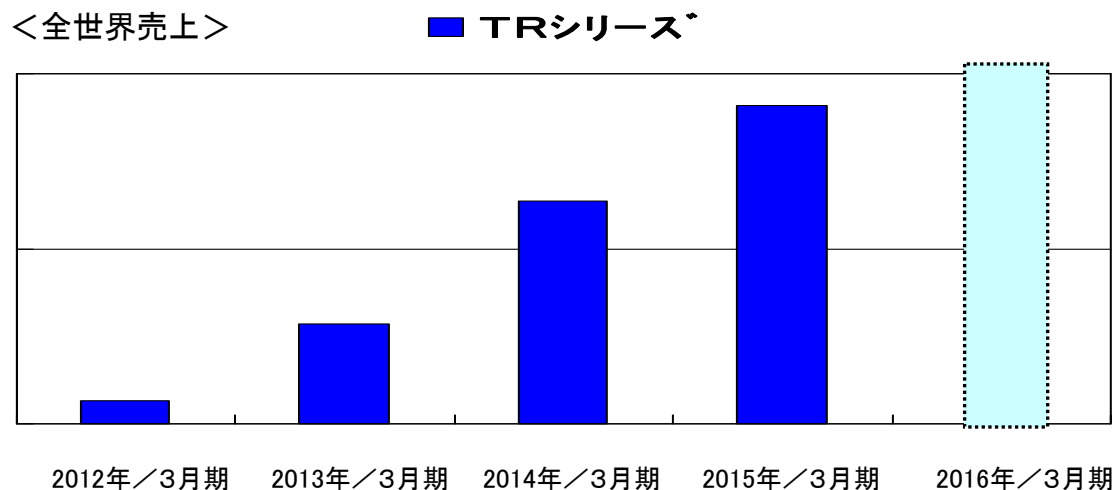
- ◆上海に世界最大のG-SHOCK STORE開店(6月)によるG-SHOCKのさらなる販売拡大



- ◆SHOCK THE WORLDの実施によるG-SHOCKの拡大

2. デジタルカメラ

◆TRシリーズを中国で販売強化し、東南アジアへ拡大



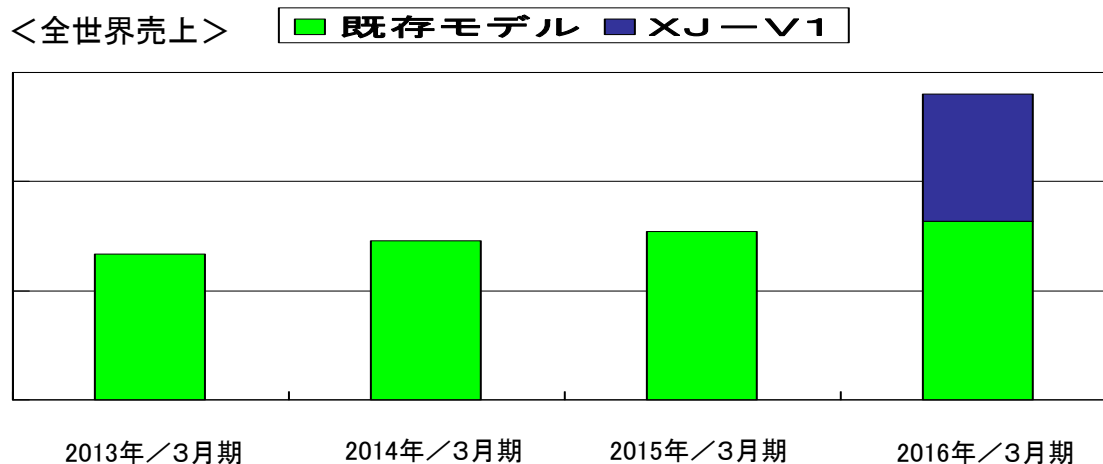
◆撮影した画像を自動でスマートフォンに転送できる

エクシムオートトランスファーに対応した新ジャンル(EX-ZR3000,ZR60)を確立

◆フリースタイルのカメラと液晶モニター部を分離できるジャンルを確立
(EX-FRシリーズ)

3. プロジェクター

◆価格競争力のある画期的な新製品XJ-V1をグローバルで販売拡大



XJ-V1

最高水準のコストパフォーマンス

- ・水銀フリー
- ・光源寿命2万時間
- ・最短5秒で起動
- ・低消費電力

◆ROE

- ・経営の重要な指標として今後も業績の大幅向上を図り利益の拡大と資産効率の改善により向上を目指す

◆株主還元施策

- ・配当
- ・自社株取得

END